

寒河江 昌平 先生

神奈川県厚木市 厚木妻田南歯科医院



これまで手練りのアルジネート印象材をご使用されていた寒河江先生に、3 M™ ペンタ™ アルジネート印象材のメリットと使い方のコツをお伺いしました。

1 | スタッフの仕事は、印象を上手に練ることではない

現在、一部の義歯の印象以外は、全て3 M™ ペンタ™ アルジネート印象材を使用している。3 M™ ペンタ™ アルジネート印象材の導入により、印象材の練和を手練りから自動化することでスタッフの作業を簡略化することができている。院長としては、うまく印象材を練ることが本来はスタッフの仕事でないと考えており、自動化で空いた時間で、患者さんへのケアや予防処置など本来業務により一層注力してもらいたく、3 M™ ペンタ™ アルジネート印象材の導入により、それが可能になったと感じている。

2 | トータルのチェアタイムが削減された

3 M™ ペンタ™ アルジネート印象材の利用で、手練りがかかっていた印象採得の準備時間を減らすことができている。また、印象採得の時間の削減のみでなく、印象のぼらつきが抑えられ、精度が良くなることで、出来上がった補綴物の調整をする時間も減っている。練和時間に加え、補綴物の調整時間も減りトータルのチェアタイムが短くなっていることを実感できている。

3 | もう手練りタイプには戻れない

自動練和器によって印象のぼらつきも減り、精度もあがり、スタッフが楽になり労働環境も改善したこと、そして印象採得からセットまでのトータルのチェアタイムも減ったことは、経営者としても、スタッフにとっても、また患者さんにとっても良いシステムであると考えている。すでに2台のペンタミックス™ 印象材自動練和器を導入しており、利便性高く使っているので手練りのタイプには戻れない。

4 | 使い始めは慣れが必要

「最初の5cmのペーストを使用しないこと」「2分半の口腔内保持時間」など、今まで使っていた手練りと異なった使用方法だったので、最初は少し慣れが必要だった。これまで使っていた手練りタイプの印象材より、口腔内保持時間が少し長くなることに初め抵抗感があったが、手練りタイプより垂れにくい性状のペーストのため、患者さんの負担も少ないことがわかった。きちんと精度の高い印象を取って再印象にならないことは、結果的に患者さんにも歯科医院にとってもよいことであると考えている。

タイミングの合わせ方／運用

当院では、手練りの負荷が減り印象採得のオペレーションは全て1人で行っている。チェアのポジションや患者さんの口腔内環境を整えた上で、ペンタミックス™ ライト 印象材自動練和器で練和を開始。別室での印象採得の場合は寒天を取り出した後に、ペンタミックス™ ライト 印象材自動練和器で練和を開始。

口腔内
環境準備

寒天取出

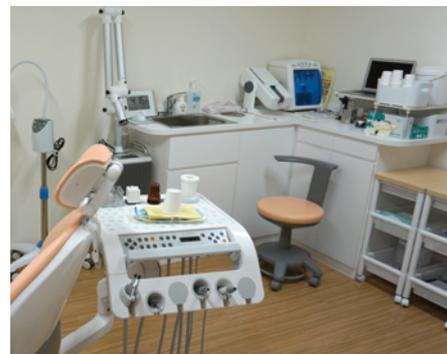
練和／盛付け

寒天注入

口腔内圧接



メインルームには、ペンタミックス™ ライト 印象材自動練和器と寒天コンディショナーを設置。チェア2台は、同じ部屋のペンタミックス™ ライト 印象材自動練和器を使用。



個室には2台目のペンタミックス™ ライト 印象材自動練和器を設置し、寒天はメインルームの寒天を持ってきて使用。

販売名:3M ペンタ アルジネート 印象材 認証番号:229AKBZX00023000 / 販売名:インプリント 4 印象材 認証番号:225AKBZX00168000

販売名:ペンタミックス ライト 印象材自動練和器 届出番号:13B1X10109000256

3M、ペンタ、インプリント、ペンタミックスは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

歯科用製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2018. All Rights Reserved.
DEN-1593-AJ (061803) PN/e.

Web

3M 歯科



3M コールセンター

0120-332-329

9:00~17:00 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
フリーダイヤルが繋がらない場合は、
03-6409-3157をご利用ください。